

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度12月補正予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 **新** アフターコロナに向けたスタートアップ企業支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 IT利用促進室 IT拠点活用推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3051)

E-mail：[c11352@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11352@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 6,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,000	0	0	0	0	0	0	0	6,000
決定額	6,000	6,000	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパンでは、インキュベートルームの提供や3Dプリンター、レーザー加工機等を企業向けに開放する「ファブコア」など、スタートアップ企業支援に取り組んでいるが、サテライトオフィス整備による入居企業の増加やアフターコロナに向けたビジネス機会の拡大が期待される中、入居企業等から新事業創出やアイデアのビジネス化に向けた、企業間の交流促進を求める声が大きくなっている。

このため、ソフトピアジャパン入居企業等の交流を促進し、個社で解決できないソリューション想起や新たなビジネスマッチング機会の創出を図るとともに、今後のスタートアップ企業支援等の施策展開に向けた調査・分析を行う。

## (2) 事業内容

アフターコロナに対応するビジネス創出に向けたセミナーや入居企業等の連携強化に向けたワークショップの開催を通じて、企業間の交流の場を創出することで、新事業やビジネスマッチング機会の創出を図る。

あわせて、セミナー等の参加企業へのヒアリングやアンケート調査などを実施し、今後のスタートアップ企業に対する支援策の改善や環境整備に向けた分析を行う。

## (3) 県負担・補助率の考え方

事業費は県費で対応する。

## (4) 類似事業の有無

ソフトピアジャパン・県営住宅ソピア・フラッツ指定管理者業務

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
業務委託料	6,000	交流促進・連携強化業務、既存支援策の改善提案業務
		・交流促進・連携強化業務 セミナーの開催（1回）、ワークショップの開催（2回） ・既存支援策の改善提案業務 入居企業へのヒアリング及びアンケート 既存支援策の課題抽出、分析報告書の作成
合計	6,000	

### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置付け

＜岐阜県DX戦略推進会議提言、岐阜県DX推進計画（骨子）＞

- ・クラウドサービス等のソフトピア入居企業による開発促進
- ・一層の成長が見込まれるデジタル関連産業の誘致促進や各産業の特性を踏まえたデジタル技術活用の促進

＜DXプロジェクト＞

- ・デジタル産業強化：IT企業と成長分野を担うユーザ企業の連携強化
- ・起業・スタートアップ：スタートアップ企業における関連企業や社会との連携体制を構築し、起業・定着・成長までを支援

**(2) 後年度の財政負担**

単年度事業のため後年度の財政負担なし。

**(3) 事業主体及びその妥当性**

県が実施するスタートアップ企業支援を強化し、入居企業等が交流しやすい環境整備を行うことを目的とした事業であるため、県が実施すべき事業である。



# 事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/>	新規要求事業
<input type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 入居企業等の交流を促進し、個社で解決できないソリューション想起や新たなビジネスマッチング機会の創出を図るとともに、今後のスタートアップ企業に対する支援策の改善や環境整備に向けた調査・分析を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

本事業は入居企業等の交流促進、ビジネス競争力の強化、既存の入居企業支援策の効果と課題を抽出し、今後の改善策の分析を行うことが目的であり、政策的な指標は設定することができない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・新規事業のため該当なし
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>入居企業等の事業継続・発展を図るために必要である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>—</p>	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
<p>(評価)</p> <p>—</p>	

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>その時々ニーズに応じた交流を促すことに加えて、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた新たな交流を取り入れる必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>個社で解決できないソリューション想起や新たなビジネスマッチングの創出が継続されるよう、必要に応じた支援を実施する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>